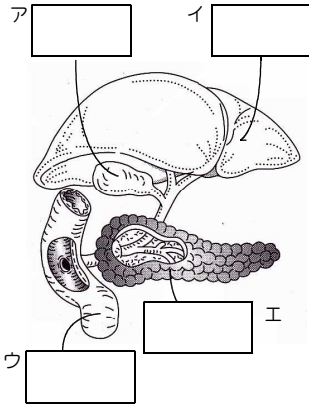
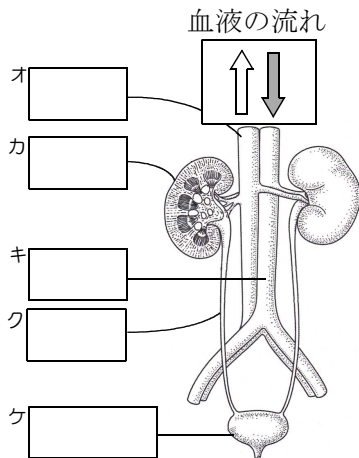


肝臓とじん臓のはたらき



毛細血管内の血液に入った 1 や 2 は、血液とともに 3 をへて 4 に運ばれる。5 の一部は、6 で 7 という物質に合成されて一時たくわえられる。8 は必要に応じて再び 9 に分解され、10 に運ばれる。11 の一部は、12 で 13 に合成されて 14 に運ばれる。

脂肪を取りこんだ小腸の 15 は、やがて 16 と合流し、血液の中に入った脂肪は、17 されたり、脂肪として 18 する。

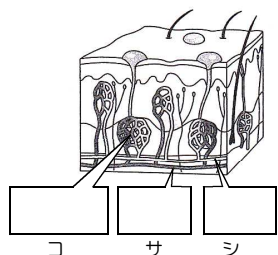


細胞の活動によって生じた 19 は、21 から体外に出される。細胞の活動では、22 以外にもいろいろな 23 ができ体外に出される。24 はたらくを 25 という。

細胞で 26 が分解されると、27 のほかに 28 という有毒な物質が生じる。29 は血液に取りこまれて 30 に運ばれ、31 という無毒な物質に変えられて、再び 32 によって運ばれる。血液中の 33 は、34 でこしとられて 35 として 36 される。また、37 は、血液にあるよぶんな 38 や 39 をこしとって 40 の中に 41 している。42 は 43 を通って 44 に集められ、ある程度たまると体外に 45 される。

血液中の不要物の一部は、皮ふにある 46 から 47 として 48 される。

ヒトのじん臓のつくりとはたらき じん臓は背中側の腰の上に対あり、にぎりこぶしぐらいの大きさである。じん臓には 49 によって多くの血液が流れこみ、からだの 50 がこしとられる。じん臓のはたらきがおとろえると、51 によぶんな 52 がたまり、生命に危険をおよぼす。



・尿の成分の 53 (質量パーセント濃度)は 54 で、残りが 55 などである。

・汗の成分は尿の成分と 56 あるが、尿よりも水分の割合が 57。